



多摩市立瓜生小学校

瓜生小だより

令和2年度 第13号
令和3年 3月1日

挑戦と試行錯誤

校長 水野裕司

一人一台のタブレット端末が学校にやってきました。各教室に保管庫が設置され、授業中必要な場面ですぐに取り出して使うことができます。これまで瓜生小学校では、職員室の予約表に教員が記入し、他の学級と調整しながら使っていました。これからは、学級の学習内容に合わせて、いつでも使うことができます。タイムリーな活用で、これまでとは違った充実した学習ができると楽しみにしています。

一方、最近話題になっている「スマホ脳」という本を読みました。その中で、人間は、誘惑するものが目の前にあると、それを無視するために膨大なエネルギーを使ってしまう。その分、大切なことに集中するエネルギーが減ってしまう。というようなことが書いてありました。教室にやってきました「魅力的な」タブレット端末。その魅力が学習への集中力を削ぐのではなく、子供たちの学習意欲を引き出すのに役立つように活用の仕方を工夫し、価値あるものにしていきたいと考えています。

さて、2月には「のど自慢集会」を行いました。今年は、コロナ対策として、オンラインで体育館と教室を結び、舞台上で熱唱する友達の姿をみんなで応援し合いました。体育館で一堂に会する盛り上がりを経験することができず残念でしたが、子供たちにとっては、いつもと違う体験で新鮮だったようです。集会委員会の子供たちは、気温2度という寒い体育館で長い時間よく頑張っていました。多くの保護者の方も画面の向こうで応援してくださいました。また、授業参観も参観の時間を分散させて行い、子供たちの学習に取り組む姿を見ていただくことができました。ご来校ありがとうございました。更に5年生は、自動車工場のオンライン社会科見学に参加しました。工場の様子をまとめた映像資料をオペレーターが解説してくれました。ライブなのでその場で質問することもでき、有意義な時間となりました。

3月は、6年生を送る会を行います。こちらも、会場の多目的ホールと各教室をオンラインで結んで行います。6年生と在校生が互いに感謝し合える温かいに会にしたいと準備を進めています。また、6年生の児童と保護者の有志がウサギ小屋を白いペンキで綺麗に塗りなおしてくれています。次回に仕上げをする予定ですが、まばゆい白が映えてとても素敵になりそうです。来年度の環境委員会の飼育活動が楽しいものになりそうです。PTAからもペンキ代の補助をしていただきました。ありがとうございます。

5年生と6年生は、中止となった宿泊行事の代替行事として2月末に、江の島方面と富士急ハイランドへの遠足を予定していましたが、緊急事態宣言のため3月に延期となりました。無事に実施できることを願いながら、感染者数や重症者数などを見ている毎日です。教育活動を計画通りに進められない日が続きますが、新しいことへの挑戦と試行錯誤を繰り返しながらできることを着実に積み上げ、教職員一同力を合わせて子供たちの学びの場を作っていきたいと考えています。